

教えて!

富山 けいざい

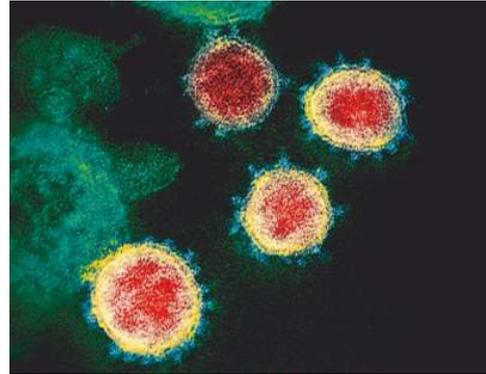


新型コロナの影響は？

◆ワクチン完成が鍵／働き方・国際関係変化

Q－コロナウイルスの感染の影響はいつまで続くの。

A－国内では医療崩壊が懸念されたものの収束方向となりました。ただ、ワクチンや特効薬などがない限り、人々の生活が完全に元に戻ることはありません。お年寄りや持病を持った人にとってこの病気は怖いままです。ワクチンが完成するまで数年とも言われ、その間は消費や投資は低調なままとなります。



Q－世の中はどう変わる。

A－人の移動が完全に回復せず景気が回復しない中で、観光や飲食などは特に厳しい状況が続きます。企業も変化しないと生き残れません。例えば働き方改革です。多くの企業が出社せずに仕事をするリモートワーク（在宅勤務）を取り入れました。この働き方は管理がしにくい半面、社員にとって仕事の達成度が厳しく求められるということが分かりました。賃料の高いオフィスも通勤費も通勤時間も不要です。全員一律出社という働き方は古くなるかもしれません。

Q－国際関係も変わるの。

A－中国は当初、病気関係の事実を完全に公開しませんでした。WHO（世界保健機関）も「人から人へは感染しない」といった誤った声明を出しました。欧州連合（EU）諸国では人の移動を制限し、自国第一の姿勢に転換しました。これらの出来事は今後の国際関係に大きな影響を及ぼすでしょう。また、中国で生産されていたマスクや医療機器などの生産を国内に回帰させる動きも出ています。

Q－県内の状況は。

A－北陸は一時、人口に比べ感染率が高い水準にありました。新幹線開業後、地理的にも産業的にも東京や世界と近くなっていたということの証しでしょう。第2波に備えるとともに、時代の変化に速やかに適応できる社会を築いていくことが求められます。

（北陸経済研究所の藤沢和弘さんが解説しました。随時掲載します）